

# 人文社会学部 教育学科

## 教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各学科・コースは、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー、以下 CP）に基づき、それぞれの特色を活かした教育方法による授業を行っています。さらに、資格取得に向けた科目の充実など、教育方法に工夫を重ねながら教育内容の向上に取り組み、社会に出てから教育界でリーダーシップを発揮できる人材育成を目指します。

### 【教育方法】

乳幼児や児童の理解と発達に関する教養科目として、「児童学」や「発達と教育の心理学」などを設けています。また、幼稚園、小学校、特別支援学校の教員免許や保育士資格の取得に関する多様な専門科目を設け、教育・福祉・心理などの幅広い教養と知識・技能を身に付けた「子どものエキスパート」の育成を目指して教育内容・方法の充実に努めています。少人数制クラスのセミナーでは、初年次から実践的・体験的に学ぶことを大切にした学修プログラムを組んでいます。

### 【教育の特色ある工夫】

#### 小学校・特別支援コース

- ・ 建学の精神「実学」を重視し、「教育への情熱や幅広い教養」「教育に関する知識とスキル」「教員に必要な実践能力の獲得」を軸にした本学の教職課程目標に沿って、理論と実践の融合を図る系統的なカリキュラムを整えています。
- ・ 即戦力として活躍できる教員になることを目指して、小学校（全科）と特別支援学校（知・肢・病）の教員免許を合わせて取得するよう積極的に促し、小学校や特別支援学校に在籍する子供の多様な教育ニーズに柔軟に対応できる資質の育成に向けた学びを重視しています。
- ・ 学年ごとに実施するセミナー教育では、初年次から「子どもをめぐる社会問題」をテーマに掲げ、子どもに対する愛情や教育への情熱、教師として責任感・使命感などを育むために、コース全体で実践的・体験的な学修活動に取り組んでいます。
- ・ 教育現場での豊富な経験を有する実務家教員が、小学校や特別支援学校及び各教育委員会と密接な連携を図り、教育実習（4年次）の円滑な実施に向けたきめ細やかな学生支援を行っています。
- ・ 教員採用選考対策では、教職センターとの緊密な連携の下、「実務家教員」が学科試験対策や論文・面接指導の充実を図り、丁寧な学生支援を積み重ねながら合格へと導きます。
- ・ 本コースの特色のある教育内容の一つとして、周辺自治体（中野区、豊島区、新宿区）との連携協定に基づく「実践的・体験的な学びの機会の確保」できる学校インターンシップがあります。講義で学んだ知識や実践スキルを、実際に子どもとふれあいながら高めることができる貴重な学修機会です。

- ・ 1年次に「学校インターンシップ」（年間13回）を行います。実際の小学校で子どもとふれあい、教員の仕事を垣間見る経験を通じて自身の職業適性を考える機会となっています。

#### 【中野区教育委員会との協定に基づく学修活動】

- ・ 区立小学校に在籍する特別の支援を必要とする児童を対象に「帝京平成大学中野子ども楽舎（ガクシャ）」を実施しています。学生たちは、教員の指導を受けながら担当する子どもの学習進度や理解度に応じた教材・教具を工夫し、自らの授業実践力を磨いています。
- ・ 区立小学校の授業の一環として「キャンパス見学」を実施しています。学生が案内役を務め、校内の施設・設備や講義見学などを行います。小学生に分かりやすく説明したり質問に答えたりすることが良い体験となり、見学後に小学生から届く御礼の手紙は学生たちの宝物になります。

### 保育・幼稚園コース

- ・ 本コースは厚生労働省の保育士養成施設として指定されており、保育士資格が取得できます。また、幼稚園教諭免許も取得できます。さらに、希望者は小学校・特別支援教育コースの授業を履修することにより、小学校教員免許も取得できるようにしています。これは、乳幼児の保育・教育にとどまらず、就学以降の児童の育ちを総合的に支援することも視野に入れた、本コースの教育目標を反映するものです。
- ・ このような、広い視野に基づいて児童と家庭を支えることのできる保育者を育成するため、少人数のセミナーを中心にして、1・2年次はコミュニケーション能力や表現力、基礎的な保育技術・能力を養うことを重視し、3・4年次は現場実習の支援を通して、保育者としての資質・能力を養っています。
- ・ また、社会に貢献する意識と力量を養うため、1年次から地域との連携活動やボランティア活動に取り組み、各科目とセミナーとを連携させて学生指導を充実させています。例えば、学園祭や地域の催事の機会を利用して子ども向け行事を学生自身で創り上げ、地域の人たちとの交流を通して、実践力を養っています。
- ・ 実学の精神という本学の理念に基づき、保育現場でのボランティア活動に1・2年次のセミナー課題として取り組んでいます。また、ピアノのレッスンは四年間個別指導を受けることが可能で、現場で活用できる能力の向上を支援するとともに、学内における学修とは異なる視点から、保育・教育実習などの指導を充実させ、個々の学生が意欲的に学び、体験を広げるよう学生の能動的な活動を引き出しています。
- ・ 学内で実施している子育て広場「プリプリキッズ・ユニバ」に、「子育て支援演習」を履修する学生がスタッフとして参加し、乳幼児や保護者と関わる体験から、子育てや乳幼児の発達や遊びに対する理解を深め、子育て支援における保育者の社会的役割について学ぶ機会を設けています。これらを通して保育・教育に関する学びを深め、学生自らが乳幼児期の保育・教育に関する研究課題を設定し追究することで、社会に出てから保育・幼児教育界でリーダーシップを発揮できるような人材の育成を目指しています。